

「山口市道路整備計画(案)」に対する御意見及びこれに対する市の考え方

- 1 意見募集 令和8年2月12日(木)～令和8年3月13日(金)
 2 意見提出者 4名(4件)

意見者	意見の要旨	御意見に対する市の考え方
意見者1	<p>自転車が車道を走る際、車との距離が近く非常に危険を感じることから、自転車が安心して走行できる十分なスペース(自転車専用レーン等)の確保を優先的に進めてほしい。スペース確保が難しい場所でも、ドライバーに対して自転車が走っていることを明確に知らせる路面標示や看板を設置し、注意喚起を強化してほしい。また、幅の広い歩道については、歩行者と自転車が接触しないよう、カラー舗装やラインにより通行区分を視覚的に明確にしてほしい。</p>	<p>本計画では、人・自転車と車両の事故が全事故の約3割を占めていることを課題として認識しており、基本方針1において、「通学路や生活道路における歩行空間の確保・充実により安全性の向上を図る」ことを定めています。</p> <p>御指摘の内容は、御意見として参考にさせていただきます。</p>
意見者2	<p>大歳地区の石州街道は、小学生・中学生が通う重要な通学路であるとともに歴史的に重要な道であるが、道幅が狭く、電線も多いなど通行が危険な状況にある。電線の地中化と、道脇の水路に溝蓋をして道路幅を拡張した上で縁石を設け、子ども・障がい者・高齢者が安心して通行できる歩道を整備してほしい。</p>	<p>本計画では、市道の約9割が歩道未設置であることや、通学路等における歩行者・自転車の安全確保を課題として認識しています。</p> <p>こうした課題を踏まえ、基本方針1において「通学路や生活道路における歩行空間の確保・充実により安全性の向上を図る」ことを定めています。</p> <p>御指摘の内容は、御意見として参考にさせていただきます。</p>

意見者	意見の要旨	御意見に対する市の考え方
意見者3	<p>旧農業試験場の再開発に伴い、大内小学校との間の市道は特に夕方や土・日曜日の県道が混雑する際の迂回路として著しく混雑している。また、大内小学校の登下校時は路側帯のない箇所がほとんどで、児童たちが車のそばを小さくなって歩いている危険な状況がある。南小学校前の市道のような二車線化、またはそれが難しければ農業試験場側の土地を活用した道路拡幅を、学校区であることも踏まえて検討してほしい。</p>	<p>本計画では、市道の約9割が歩道未設置であることや、通学路等における歩行者・自転車の安全確保を課題として認識しています。</p>
意見者4	<p>山口駅裏の榎野川沿いの市道は幅員が狭く歩道が未整備であるため、朝夕の学生(自転車・徒歩)や高齢者の通行時に抜け道利用の車との接触危険がある。元々幅員が狭いため、単に歩道整備を行っただけでは車の行き来ができなくなることから、川の一部をつぶして車道を拡幅した上で歩道を整備してほしい。最近では民家も増えており、生活道路と抜け道が混在している危険な道として認識いただいた上で検討してほしい。</p>	<p>こうした課題を踏まえ、基本方針1において「通学路や生活道路における歩行空間の確保・充実により安全性の向上を図る」ことを定めています。</p> <p>御指摘の内容は、御意見として参考にさせていただきます。</p>